

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要			
事業開始年度 平成13年度(スポーツ大会)			
総合計画	大項目	基本目標	02 健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目	基本施策	01 やさしさあふれるまちづくり
	小項目	施策	03 障害者(児)福祉
事務事業名			05 障害者福祉増進事業
問合先			担当課(室) 社会福祉課
職・氏名			障害者福祉係長 山本光男
電話			0869-64-1824

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	知的、身体障害者
目的(何のために)	障害者がスポーツを通じて交流を深め、大会等へ参加することで福祉の増進を図る。
行政活動(どのような方法で)	岡山県障害者スポーツ大会への参加。ボーリング大会等の開催。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	障害者がいろいろなスポーツ大会等に参加し交流を深めることで福祉の増進を図りたい。

事業の実績				
実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
スポーツ大会参加者数	人	57	60	51
ボーリング大会参加者数	人	33	31	35

事業費				
直接事業費	千円	345	303	357
必要人員	人件費	0.25人 2,090	0.05人 379	0.06人 479
事業費	費計	2,435	682	836
国	支出金			
県	負担金			
市	収入金			
その他	()			
一般	財源	2,435	682	836
受	益者負担比率	%		

結果指標				
結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
スポーツ大会参加者数	説明	岡山県障害者スポーツ大会の参加者数		
結果指標量	人	57	60	51
対前年比	%	-	105.3%	85.0%
活動コスト	円	1,524,000	363,000	623,000
単位当たりコスト	円	26,737	6,050	12,216
ボーリング大会参加者数	説明	ボーリング大会の参加者数		
結果指標量	人	33	31	35
対前年比	%	-	93.9%	112.9%
活動コスト	円	911,000	319,000	200,000
単位当たりコスト	円	27,606	10,290	5,714

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
スポーツ大会参加者数	目標値(A)			100	110
	実績値(B)	90	91	86	到達目標年度
	達成率(B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	86.0%	22年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
岡山県障害者スポーツ大会及びボーリング大会の参加者を増やす。					

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>		
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input checked="" type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	判定理由・課題認識		
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体等から要望・要請が強い 説明	岡山県障害者スポーツ大会、ボーリング大会とも、知的・身体障害者の健康増進及び社会参加のために寄与している。	
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託等)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A~E>	
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input checked="" type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	判定理由・課題認識	
市民参画度		スポーツ大会については、備前市選手団を組織して参加している。また、ボーリング大会については、障害者組織に委託して行っている。		

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

平成21年度の状況						
目標値	結果指標量①	60	結果指標量②	40	成果指標量	100
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	スポーツ大会の参加者が年々減少していることから積極的に広報等で情報提供し、参加者を増やすよう努めた。					

総合評価	
大会に参加する選手だけでなく、応援者の参加もあり、障害者同士の親睦が図られており、目的に沿った事業が実施されている。	評価区分 <A~E> B

平成22年度以降の方向性・内容						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	スポーツ大会の参加者が年々減少していることから積極的に広報等で情報提供し、参加者を増やすよう努めた。					
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果		